

一目で分かる 平成23年度政策評価結果の概要

政策の評価

A評価：目的が十分に達成されている
B評価：目的がかなり達成されている
C評価：目的がそこそこ達成されている
D評価：目的があまり達成されていない
E評価：目的が達成されていない

大学、保健衛生・医療の2政策がA評価となりました。

○ 政策27項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
2 (7.4%)	19 (70.4%)	6 (22.2%)	0	0	27

- ◇ **大学**については、市内学生数の全国学生数に占める割合が評価基準に照らして高かったことと、「大学のまちとしての学びの環境の充実」と「大学の研究成果の高さ」に関する市民の方の実感が全体的に良かったことによります。
- ◇ **保健衛生・医療**については、男女別の健康寿命（平均的な京都市民が介護を必要とせずに生活できる期間）が評価基準に照らして長かったことと、「公共の場での禁煙の進展」に関する市民の方の実感が全体的に良かったことによります。

施策の評価

○ 施策114項目の評価結果の内訳

A	B	C	D	E	計
22 (19.3%)	62 (54.4%)	28 (24.6%)	2 (1.7%)	0	114

- ◇ 政策を構成する施策の総合評価結果が全体的に高かった政策分野は、**環境、大学、学校教育**の3政策でした。
 - **環境**は、自然環境等の保全と、循環型社会の構築に関する施策で高い評価を受けました。
 - **大学**は、学び住み続けたいくなる「大学のまち」の実現と、大学の国際化に関する施策で高い評価を受けました。
 - **学校教育**は、市民ぐるみの教育の推進と、子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進に関する施策で高い評価を受けました。